

生ゴミを 自然にかえそう！

EMボカシで生ゴミが有機肥料に変身

— 生ゴミ堆肥を使って花づくり・野菜づくり —



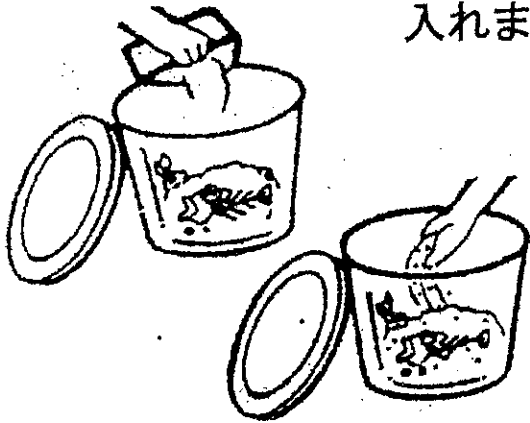
EM ボカシってなあに？

EMボカシは、もみ殻、米ぬか、糖蜜等にEM(有効微生物群)を混ぜ合わせて発酵乾燥させたもので、これを生ごみにかけるとEM菌がごみを腐らせることなく発酵させるもので、生ごみ特有のイヤな臭いが消えるほか、ハエや猫も寄せつけません。その後、約1週間(冬は2週間)ほどで有機肥料に生まれ変わり、庭木や菜園の肥料として使うことができます。

EM ボカシは密閉容器を利用して生ごみを堆肥化するもので、コンポスト内での利用や畑に直接撒いても全く効果がありません。

EMボカシの使い方

- ①プラスチック製の容器等(密閉式のもの)に生ごみを入れます。(水分は十分に切る)



- ②生ごみの上に、ボカシを均一にかけます。
(生ごみ1kgあたり10gくらい。一般家庭で使う場合、ほんのひとつまみです。)

- ③フタをしっかりと閉めます。そして毎日同じ容器に入れ、一杯になるまで繰り返します。容器が一杯になった後、約1週間(冬なら2週間)放置すれば有機肥料として使えます。(その間適度にガス抜きをしてください。)



———— チェックポイント ————

- ◆生ごみの水分は、十分に切ってください。
- ◆その日に出た生ごみは、その日のうちに処理してください。
- ◆夏場はEMボカシを多目に入れてください。
- ◆容器の下に溜まった液肥は、トイレや台所の流しへ流すと、悪臭対策や洗浄効果があります。
- ◆発酵が終わった生ごみは、漬物に似た臭いがします。
- ◆EMボカシと容器は、日陰で風通しの良い場所へ保管してください。
- ◆1袋にEMボカシは約300g入っています。

★問い合わせ先 市環境課 41-3311(内線 391)

★EMボカシ配布場所

環境課塩浜事務所及び市内各公民館(西端公民館を除く)、農業者コミュニティセンター、南部市民プラザ、東部市民プラザで配布

EMボカシについてのQ&A

Q 生ごみを上手に有機肥料に変えるコツを教えてください。

A まず、第一に生ごみの水分をよく切ること。そして、その日にでた生ごみはその日のうちにボカシをかけることが大切です。また、魚や肉類を出す場合は、いつもより多めにEMボカシをかけてください。夏場で臭いが気になるときや、生ごみの量が多いときも同じです。とにかく、使っていて少し臭うと感じた場合は、ボカシを多めに使うことです。

Q 生ごみが有機堆肥として出来上がったかどうかの判断は。

A むか漬けのような酸味のある臭いがしたら出来上がり。容器が一杯になってから、そのまま放置(熟成させる)し、約1週間から10日くらいで生ごみ堆肥の出来上がりです。

Q 生ごみ堆肥はどのくらいの期間で土に還元しますか。

A 土との混合の割合次第で変わりますが、土に埋めて2週間から1か月ほどで原形がなくなります。

Q EMボカシの保存期間はどれくらいでしょうか。その保存方法は。

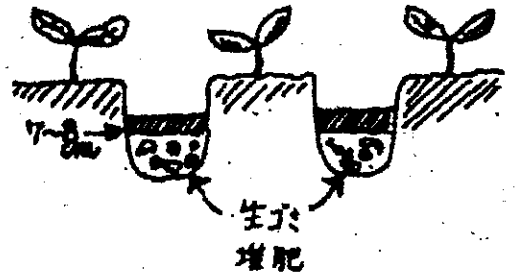
A 品質によって差がありますが、3か月から6か月以内に使ってください。長く保存するには、ビニール袋では内側に水滴がついてそこから腐敗しやすくなるので、紙袋に入れて風通しのいいところに置いてください。

青カビが発生し、悪臭がした場合は、EMボカシとしての効果がないと考えられますので、土中に捨ててください。

生ごみの堆肥の利用方法

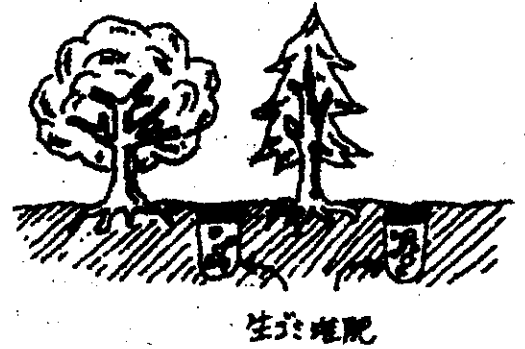
畑

畑で埋める場合は、畝と畝の間に入れ、その上に7~8cm程度の土を盛る。



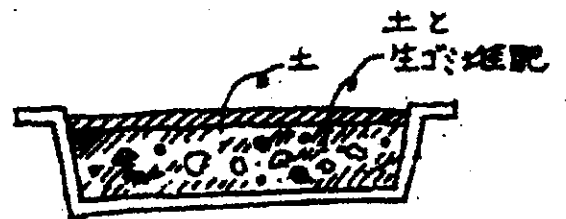
庭

庭木の場合は、所々に穴を掘って埋める。



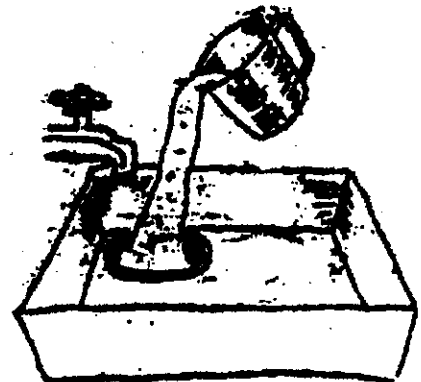
プランター

シャベルなどで、生ごみ堆肥と土をよく混ぜ、その上に5cm程度の土をかぶせる。1~2週間たってから種や苗を植える。



下水

液肥を500倍に薄め、台所の流しやトイレに1~2リットルを流す
(水1リットルに対し2ccの液肥)



池・川・溝

液肥を流すと、澄んだきれいな水になる。

